

YAMANASHI
DISCOVERY
MAGAZINE

VOL.

09

2017

WINTER

山梨

てて
teku-teku
くく

| 特集 |

小さな空間に広がる
奥深き印章の世界



山梨

てて
Teku-Teku
くく



『山梨てくてく』は
歩く速さでじっくりと

山梨の魅力を紹介していきます。

山梨で産出された水晶を用いた

水晶印の篆刻から始まったといわれる、六郷の印章産業。

全国一を誇る産地として長きにわたり伝統は受け継がれてきました。

今回は『はんこの里』の歴史や職人の技、

人々の創意工夫や地域愛に触れながら

六郷のまちを中心に『てくてく』。

こんな山梨があったんだ、と思える発見や感動を

見つけていただけたらと思います。

※「六郷」は市川三郷町六郷地区(旧六郷町)のこと。

VOL. 09

CONTENTS

特集

小さな空間に広がる
奥深き印章の世界

03 唯一無二の印章を彫る。

伝統を守りつつ

06 創意工夫で切り開く
印章の未来

「てくてく」伝

08 六郷に印章産業が根付いているわけ。
そこには、優れた技と
足袋の行商で築いた力があつた。

「てくてく」食

12 昔から、六郷の物日には欠かせない
まごころこもった「おごつそう」。

「てくてく」住

14 創作意欲は自然から受ける
ここは、そうだった場所。

「てくてく」甲斐の図

16 甲斐岩間駅



唯一無二の 印章を彫る。

六郷に
息づく職人の気鋭。

甲州手彫印章は、六郷を中心産地として作られてきた

長い歴史を有する工芸品。

平成12年には経済産業大臣から

伝統的工芸品の指定を受けるなど、高い品質を誇ります。

地域に根差した印章産業とその文化は脈々と受け継がれ、

優れた職人の技は、今もなお伝統を守りながら、

進化し続けています。

「印章は、唯一無二でなければならない」という

思いを胸に彫り続ける

甲州手彫印章 伝統工芸士・望月煌雅くろさんが語ります。

※印章は、すなわち、ほんこのことを指します。

はんこの町に生まれ、
自然に目指した職人の道

「祖父が創業したのは昭和15年ごろだと聞いています。当時すでにこの辺りは印章の産地だったので、祖父は印章の販売をしていました。父は手彫りの技術を身に付け、販売と彫りの両方の仕事をするようになりました。」

かつて父が使っていたこの工房は、私の遊び場だったので、はんこはいつも私の近くにありました。小学生の頃は、この地域がはんこの産地として栄えていたので、同級生の親のほと

んどが、はんこに関わる仕事をしていました。そんな環境の中で育ったので、私も友達も卒業文集に『将来、はんこ屋さんになる』と書いていたんです」

印章は自己の分身。
唯一無二でなければならぬ。

「印章は自己を証明するもの。私たち作り手は、字を選びバランスを整え、印材に字を書いて彫っていく、全ての工程を手作業で行うことで、唯一無二の印章を生み出します。印影は

さまざまな場面での目に触れるので、その印影から持ち主がどんな人であるのか想像できます。つまり印影は本人の分身としての役割を果たしているんです。私は印章の注文をいただく際に必ず、お客さまと直接会ってお話を伺ったり、インターネットでの場合でも何回かやり取りをしたりしています。そうすることで、彫っている時にお客さまのことを思い、お客さま一人一人の分身としての印章を完成させることができるのです」

時を超えて
受け継がれていく印章

「昔の印章は高価な印材を使っていることが多く、おじいさんの印章の印面を削って彫り直し、お孫さんが使うといったケースもあります。象牙など貴重な印材はこのように改刻し、受け継いでいってほしいです。」

最近では、若い方や外国人の間で落款印らくかんとんの人氣が高まっています。落款印は遊びの要素があり、芸術としての側面も備えた面白さがあることから、名刺や手紙などに使っていただいても楽しめます。

私は伝統工芸士として都内の体験会などに出席したり、県内の小学生に毎年指導をしたりしています。特に子どもたちには、山梨の伝統的工芸品を知ってもらい、ものづくりの楽しさを感じてほしいと思います」



望月 煌雅さん

経済産業大臣指定伝統的工芸品 甲州手彫印章 伝統工芸士

厚生労働省認定一級印章彫刻技能士

厚生労働省ものづくりマイスター

第26回全国技能グランプリ優勝など、受賞歴多数

望月煌雅工房 市川三郷町岩間1134-1 / TEL.0556-32-3121



落款印の入った煌雅さんの名刺には、遊び心が感じられる



伝統工芸 青山スクエアにおいて
「甲州手彫印章 伝統工芸士
望月煌雅展」開催

- 開催期間 12月15日(金)～20日(水)
- 開催時間 11:00～19:00(最終日は17:00まで)
- 開催場所 伝統工芸 青山スクエア
(東京都港区赤坂8-1-22 TEL.03-5785-1301)



表紙の印章「風林火山」は煌雅さんの作品

一つ一つを大切に、
果てしない追求は続く

「最近は何でも個性と受け取られがちですが、個性を出したつもりで文字を極端に曲げてしまうと違う文字になってしまいます。文字には決まった形があり、そこからはみ出さずに、しっかりとした知識の中でバランス良く字を収めることが大切です。ですから、印面に文字を配置していく工程である布字（ぬしじ）には、時間をかけるようにしています。日本人として生まれたら、誰もが印章が必要となります。その人の分身となり得る唯一無二の印章を丁寧に制作し、使う方に気に入っていただけの良い物を作る、それこそが職人としての喜びです」



伝統を守りつつ 創意工夫で切り開く 印章の未来

絶滅の危機にある野生生物のシルエットを印面にした「WITH STAMP」
岸 WITH ケープシロカツオドリ(ネーム印) 金田 WITH リカオン(チタン印)

はんこをボールペンの頭に付けるという発想から生まれた
ネームペン「スタンペン」。

誰もが一度は目にしたことのあるこの商品は
はんこの里・六郷に昭和39年に創業した、谷川商事の初代社長が
お客さまのニーズに応え考案し、製品化したものです。

「新しいもの、良いものをつくろう」と

創意工夫を重ねながら印章の未来を切り開き続ける谷川商事。
営業部の雨宮義徳さんに、新たな取り組みについて伺いました。

印章業界の可能性を広げた 画期的な商品開発

「印章ケースの製造からスタートした当社は、初代社長のアイデアで昭和58年にネームペン『スタンペン』を開発して以来、本格的にはんこの製造・販売にも進出しました。それまでほんこの専門店で購入もしていましたが、ネームペンの発売により文房具店でも扱われるようになったのです。この商品を生み出した当社は、印章業界が文房具業界に一步踏み込む先駆的な役割を果たしたといえると思います。『新しいもの、良いものをつくろう』という先代の思いは今も受け継がれ、製造、営業などの部署に関係なく、従業員の誰もが新商品の提案をできるシステムは続いています」



文房具業界に一步踏み込む先駆的な商品となったネームペン「スタンペン」

WFジャパンとのコラボ商品 「WITH STAMP」

谷川商事では今年一年、世界自然保護基金(WWF)ジャパンとのコラボレーション商品として、絶滅の恐れがある野生生物のシルエットを名字に組み込んだはんこ「WITH STAMP」を製造・販売しています。日本独自の印章文化に野生生物保護活動という企画を取り入れた新しい視点は、デザインの斬新性やネットで購入できる手軽さ、話題性もあり、これまで印章にあまりなじみがなかった若い世代にも人気を博しています。

『WITH STAMP』に使用している動物は111種類で、字のイメージとマッチする組み合わせを考えながら、名字によく使用される漢字約2万2千種類をデザインしました。『WITH STAMP』のサイトに『名字』を入力すると動物のシルエットが入った印影の見本を見ることができ、動物の解説も記載されているので、興味深い内容になっています。

受注生産が一般的な印章業界において、見本データとはいえ、あらかじめ2万種類以上作っておくことは前例のない挑戦でした。きれいな印影となるベストなデフォルメ感を模索する中、ネーム印(浸透印)と、銀行印としても使用可能なチタン印を開発しました。この商品の購入代金の一部は、野生生物保護活動の寄付金になります。はんこを通して支援活動ができた

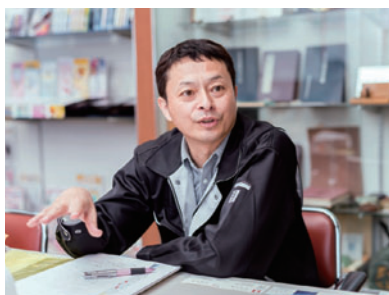
サイトを通じたコミュニケーションが生まれ、たりという新しい取り組みに携われたことは、貴重な経験になったと感じています」



期間限定商品「WITH STAMP」は、平成29年12月までネット販売している

WITH STAMP

検索



雨宮 義徳さん

谷川商事株式会社 営業部

谷川商事株式会社
市川三郷町岩間437 / TEL.0556-32-3131

大正十五年 辛 八月十五日
出版

峽南印章業組合規定

峽南印章業組合



六郷に印章産業が 根付いているわけ。

そこには、優れた技と足袋の行商で築いた力があつた。

印章は、紀元前4000年、

メソポタミアで生まれ、シルクロードによって
中国へ渡り、その後、日本へ。

1000年余りの歴史を持ち、生産高、技術とも

日本一を誇る、六郷の印章産業。

その歴史を六郷印章業連合組合の組合長、

望月孝さんが語ります。

「水晶産出から始まった

六郷の印章産業

「山梨には古くから水晶の丸玉や細工物など

の加工や彫刻を行う優れた技を持つ職人がい

たことや、江戸時代から数多くの著名な篆刻家

を輩出していた歴史があります。そして、その

ような風土、文化の中で修業を積み、卓越した

技を備えた篆刻家たちが代々、六郷において技

を引き継いでいったのです。明治に入り、国の

方策として殖産興業に力が注がれるようにな

ると、山梨でも水晶鉞山が開放され、民間にも

採掘許可が下りました。また、水晶の研磨など

を行う加工施設も設けられました。水晶加工業

全体が発展していく時代の中で、水晶印も一層

の脚光を浴びるようになりました」

「庶民も「はんこ」を使う時代に

「明治6(1873)年10月1日、太政官布告に

より印鑑登録の制度が定められました。これに

より、一般庶民も姓を持ち自身の姓が彫られた

実印を持つことを許されました。このように、

はんこを必要とする社会制度ができたことで、

普及が進んでいったのです。

余談ですが、印鑑、印章の違いをご存知です

か？本来、印鑑とは、はんこを押しした印影のこ

とで、名前が彫られているはんこを正しくは印章
といいます。近年は印章よりなじみのある印
鑑を、はんこの意味として使う人が増えてきま
したね」

「足袋の行商の販路を活用し

印章産業を発展させた人々の熱意

「江戸時代、六郷の農家では、副業として足袋

を製造し、全国に売り歩いていました。明治に

入り足袋産業が衰退し、印章産業が台頭する

と、足袋の行商で築いた販路が生かされ、六郷

のはんこは一気に全国に広がっていったので

す。印鑑登録の制度が定められてから、はんこ

は日本の社会制度の中で重要な役割を担って

きました。自己を証明する手段として、はんこ

が持つ重要性は時代が変わった今でも同じで

す。明治の頃には、村長など地位の高い人がは

んこの行商に行ったそうです。そこには、きち

んとしたところから、しっかりとしたものを買お

うという買い手の思いがあり、それだけ売る側

にも責任がありました。

大正から昭和にかけて、販路は海外にも広が

り、アジア諸国まで水晶印を中心とした外交が

行われていました。その後、通信販売の仕組み

が確立されると、六郷の印章は地場産業として

根付いていったのです」

「印章文化を守り続ける

「日本一のはんこの里」で
あるために

「六郷は、はんこを彫る製造業、印章ケースを作る工場、卸業、通信販売会社など、はんこに関わる業種が全て集まっているという特徴を持っています。ただ、手彫り職人は現在50名ほどしかいませんので、六郷印章業連合組合が中心となり後継者育成に取り組んでいるところです。また、連合組合では、水晶、象牙、牛角、黒水牛、ツゲ、ラクトなどに加え、周辺の山で採れる『オノオレカンバ』という木を、連合組合のシンボルとして印材に取り入れられました。この木は、おのが折れるといわれるほど堅く、独特な赤みを帯びた風合いや手触り、朱肉のりの良さを備えています」

「日本の文化から、はんこがなくなることはありません。ですから、後継者となる方々の技術を磨く機会を設けたり、新たなものや伝統から学ぶ粋なものを追い求めたりしながら、『日本一のはんこの里』として印章文化を継承していきたいと思っています」





印章資料館 (市川三郷町商工会六郷支所内)

貴重な資料を通して、先人たちの印章にまつわる足跡を知り、そこに宿る思いを感じ取ることができる。館内には、明治時代からの印章彫刻に使用した道具類や印材、販売に関する書類やカタログなどを展示。小中学生の篆刻体験教室や、大人向けの体験教室(要予約)も行っている。

住所／市川三郷町岩間2160

T E L / 0556-32-2159

開館時間／平日 9:00～16:00

土日祝 10:00～15:00

休館日／12月～3月に休館日あり

お問い合わせください。

入館料／無料

六郷印章業連合組合

検索



六郷印章業連合組合

組合長 望月 孝さん



十鐘山房印拳(じっしょうさんぼういんきょ)

中国清朝時代の歴史家・陳介祺(ちん かいき)が収集した古代中国の銅印の印譜集。印譜集は1853年にそれぞれ異なった製本で10部作成され、7部が現存している。この印譜集はその希少性とともに古代中国における文字と印章の発展を知る上での貴重な資料となる。印章資料館が所蔵する十鐘山房印拳は全191巻からなり、10376種の印譜が収められている。展示しているのはその一部分だが、館内のデータベース閲覧システムでは、全てを閲覧することができる



十鐘山房印拳閲覧システム





昔から、六郷の物日には欠かせない まごころこもった「おごっそう」。

「おごっそう」は甲州弁で、ごちそうの意味

六郷特産品加工組合 | 小林 佐嘉枝 さん

緑に囲まれた山あいの風景が楽しめる県道9号線沿いに、市川三郷町六郷の特産品を販売する「夢ひろば」があります。地元のお母さんたち手作りの郷土食「あんびん」と8種類の具材がたっぷり入った「太巻き寿司」は、知る人ぞ知る人気商品です。

おいしい地元野菜を使って地域を
活性化したいと集まったお母さんたち

「自分たちの住む地域を活性化したい」と思い、隣近所の農家の女性たちで声を掛け合って始めました。もう25年も続いています。野菜は味が良くても規格外だと出荷できないので、付加価値を付けて売ることを考えて、まずコロッケを作りました。それが評判になって、専門家や行政の協力により、平成8年には『六郷特産品加工組合』を発足し、県の助成金を受けて加工施設も完成したんです。あんびんや太巻き寿司などの材料は、ほとんど自分たちで育てた野菜を使い、添加物はいれていません。皆さんの『おいしい』という声を聞くとうれしくて、やりがいを感じますね」

「あんびん」と「太巻き寿司」は
地元で愛されてきた郷土の味

「あんびんは、サツマイモやトウモロコシの粉、小麦粉などに、刻んだサツマイモを混ぜ、手でこねて、たいて、蒸して作るこの地域の郷土食です。それで『たたく』の意味の『ピンタ』があんびんの名の

由来になったようです。太巻き寿司の具は、素材ごとの食感や味わいを生かすように別々に煮ます。注文が多い日は朝の3時ごろから仕込みをするんですよ。昔は結婚式も家で挙げましたから、何か忙しい女性に代わって男性が太巻き寿司を作りました。『男しさん、お寿司をついとくれ』って言うんです。そんな郷土の味は今もみんなに愛されています。六郷では印章供養祭や印章にちなんだ秋祭りなどがあり、私たちも出店します。出来たてのあんびんや太巻き寿司は一段とおいしいですから、ぜひ食べていただきたいですね」



六郷特産品加工組合
手づくりの店 夢ひろば

市川三郷町落居2261-1
TEL.0556-20-2525
営業時間：9:30～17:00
定休日：月曜日・火曜日



Information

「夢ひろば」では、私たちがまごころこめて作った、ほくほくのコロッケ、豆餅なども販売していますよ。

**太巻き寿司**

でんぶ、卵、ニンジン、ゴボウ、ちくわ、油揚げ、かんぴょう、インゲン豆の8種類の具材が入っている

あんびん

サツマイモの粉をこね、さいの目切りのサツマイモを生地に混ぜ込み、白インゲン豆のあんこを入れた、優しい味わい



創作意欲は

自然から受ける

ここは、そういつた場所。

ギヤラリー・オゴン

彫刻家

渕上 照生さん

移住先／早川町

彫刻家・渕上照生さんとガラス造形家・カナイ樹美さん夫妻のギヤラリー兼工房「ギヤラリー・オゴン」。早川町に移住して25年になる渕上さんは、地域との関わりを大切にしながら創作活動をする中で、日本一のはんこの里・市川三郷町六郷で印材としても使われている「オノオレカンパ」に出会い、数々の芸術作品を作り出してきました。

「美術学校卒業後は、彫刻家になる決意をしていました。木が手に入りやすい場所に工房を持ちたいと考え、当時の居住地だった東京・品川の区役所に相談に行きました。そこで早川町との間に交流協定があることを知り、それがご縁となり移住がかなったのです。住まいとして借りたのは町内京ヶ島地区にある公民館です。この辺りは縄文時代から人が住んでいた所で、畑から縄文土器のかけらが出てくることもあります。この地で暮らし、創作活動を始めて3年ほどたったころから、縄文土器のような自然の中から出てきた形みたいなものを、作品の中に取り入れることができるか、と思うようになりました」

— 山梨への移住相談はこちらへ — やまなし暮らし支援センター

専門相談員が常駐し、山梨への移住や就職について、ワンストップでお手伝い。移住セミナーや各種イベントも開催しています。

■山を見て暮らすセミナー

自治体職員や相談員による地域情報の提供や個別相談などを行います。

11/18(土)…………… NPOふるさと帰帰支援センター

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8F NPOふるさと帰帰支援センター内

TEL.03-6273-4306 FAX.03-6273-4307

E-mail:yamanashi@furusatokaiki.net

利用時間：火～日曜日 10:00～18:00

やまなし暮らし 検索

■山梨県サテライトオフィス誘致セミナー

IT企業等のサテライトオフィスの誘致のためセミナーを行います。

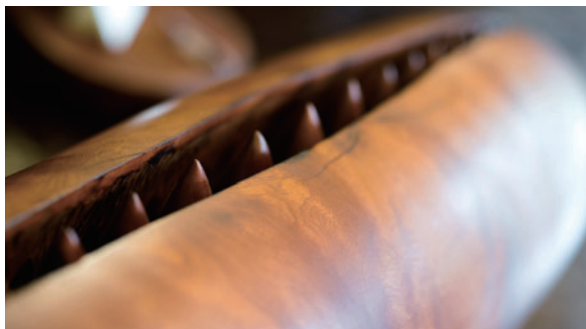
開催日時…11/29(水) 16:00～19:00

開催場所…GLOCAL CAFE(グローバル カフェ)

(東京都港区北青山2-10-29)

山梨県総合政策部 地域創生・人口対策課

TEL.055-223-1850 E-mail:c-jinko@pref.yamanashi.lg.jp



「早川では昔、オノオレカンバを車軸やつり橋の支柱として使っていたそうです。すごい堅さですね。この作品を作っている時も、のみ2本が折れました」と洲上さん



「アフリカのドゴン族の首長を『オゴン』といいます。私がアフリカ彫刻好きであることや、響きの面白さもありギャラリーの名前にしました」と洲上さん

オゴン Gallery Ogon

早川町保1525

TEL.0556-45-2770

営業時間：10:00～17:00(入館無料)

定休日：月曜日・火曜日



オノオレカンバの作品



ギャラリーオゴンでは、これまでの代表作や、木を使った器・アクセサリー、樹美さんのガラス造形作品などを展示・販売しています。その中で目を引くのが縄文土器やアフリカ彫刻を思わせるような圧倒的な存在感を放つ彫刻作品です。

「作品の中には『オノオレカンバ』で作ったものもあります。オノオレカンバは、標高の高い山で育つ年輪の目が細かい木で、おのが折れるほど堅いことからその名が付いたそうです。その堅さから創作には時間がかかりますが、シャープな線や彫りの強さが直接伝わるような迫力のある仕上がりになるのが魅力です」

「河原を散策したり、植物から季節を感じたり、冬の夜には毎晩のように天の川を見えています。自然環境というリアルなものから、インスピレーションを受けていると実感しています。このような刺激は東京にいた頃には得られませんでした。これからもこの地に暮らし、作品を作り続けていきたいと思っています」

街道の駅からの小さな旅

てくてくてくてくて

甲斐のくに

第9駅 甲斐岩間



市川三郷町六郷は

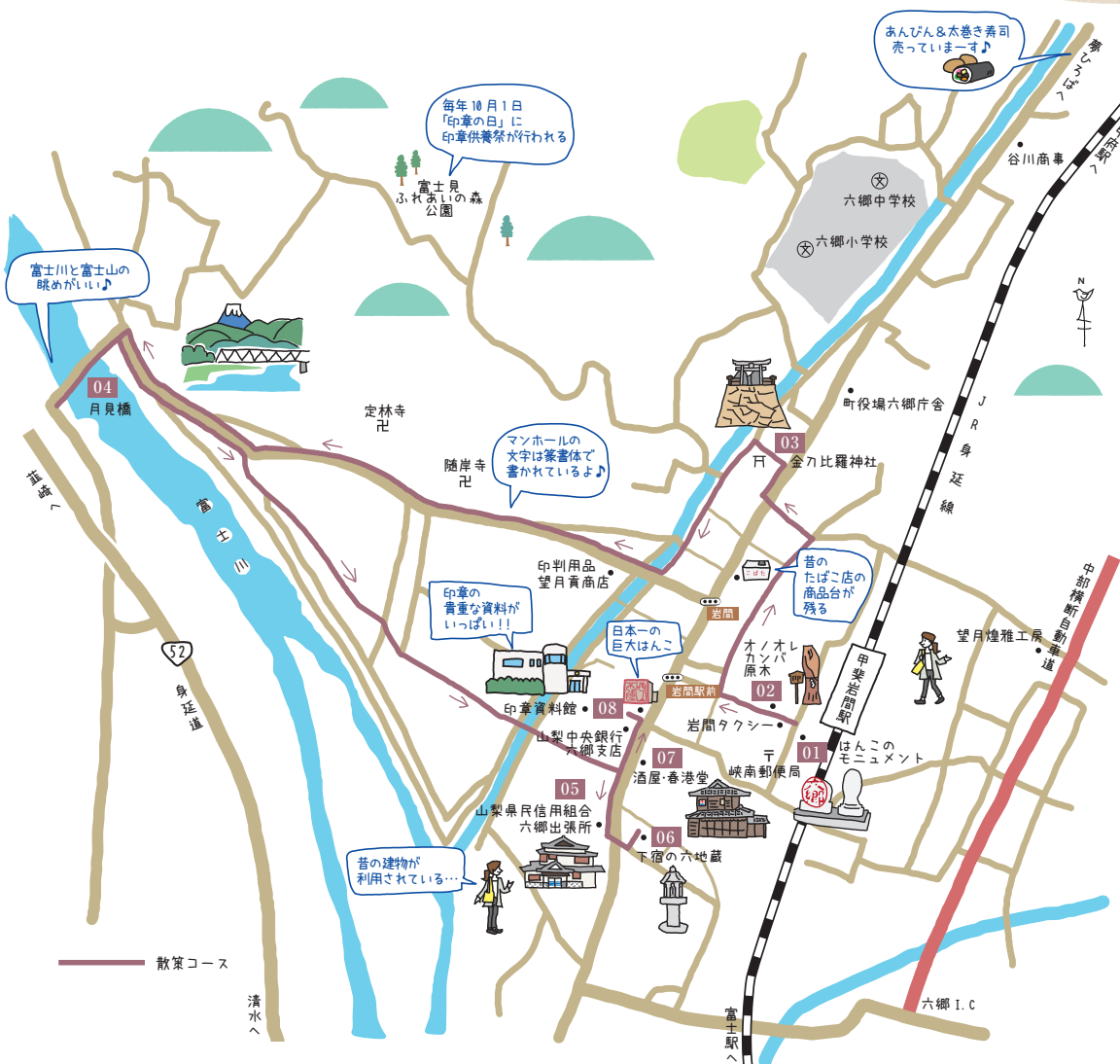
古くから「はんこの産地」として

卓越した技を磨き続けてきた職人の町。

静かな町並みは、どこか懐かしい郷愁を覚えます。

ものづくりの伝統を守り、継承していく六郷。

その歴史と風情に触れながら、てくてくと…。



01

甲斐岩間駅



駅ロタリーには、大きなはんこのモニュメントがあり、トイレの看板にも篆書体が使われるなど、日本のはんこの里らしい雰囲気がある。

02

オノオレカンバ
原木

六郷で印材として使われているオノオレカンバ。おのをも折ってしまおうほどの堅い木質から、繁栄、円満などを象徴する縁起の良い木といわれている。

03

金刀比羅神社



住宅地の一角に静かにたたずむ金刀比羅神社。境内には三基の双体道祖神が祭られている。

04

月見橋



富士川に架かる月見橋の歩道からは富士山を望むことができる。川の流れと連なる山々は旅の思い出となる風景。

05

山梨県民信用組合
六郷出張所

なまこ壁に瓦ぶきの日本屋は、旧六郷村の村長宅。現在は部を改築し、金融機関として使われている。

06

下宿の六地藏



道祖神と六地藏が安置されている。奥に置かれている石幢には「平治」の字が刻まれていることから、「平治元年」の作であるといわれている。

07

酒屋・春港堂



しゅんこうどう
明治時代に建てられた入り母屋造りの店舗。懐かしいホーロー看板があり、レトロな雰囲気を感じさせている。

08

日本一の
巨大はんこ

印面2メートル角、重量3トンの巨大はんこには「孫子の兵法」から抜粋した四文字「不動如山」が彫られている。印章資料館駐車場入り口に展示している。

てくてく
歩きの
途中で...



甲斐岩間駅前、草花の手入れをしている男性に出会いました。「無人駅なので、花でお出迎えをしようと思い、地元の有志でつくる『六光会』のメンバーが毎日水やりをしています。駅利用客の皆さんに『花がきれいですね』と声を掛けてもらったり、触れ合えたりするのがうれしいです」と笑顔で語ってくれました。

篆刻の美。
時を超えてさらに深まる気品。



自己の認証として用いる印章。中でも落款印は、芸術的要素を有している。用途はそれぞれであっても作り手が込める精神には通じるものがある。伝統ある印章の産地・六郷には、世界に誇る貴重な作品、歴史を物語る資料が数多く残されている。目を凝らし、心静かに向き合えば、名作が教えてくれる本物の気品が見えてくる。

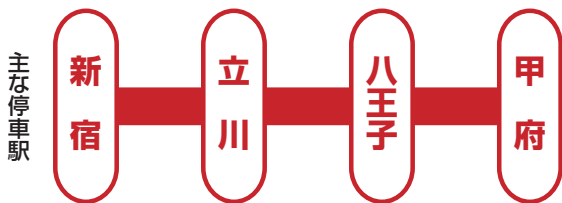
日本の篆刻界をけん引した重鎮・小林斗盦(こばやしとあん/1916~2007年)氏は、篆刻家では初となる文化勲章を受章。六郷の職人たちとの親交も深く、その縁から印章資料館には、斗盦氏の貴重な作品が多数展示されている。写真の落款印はその一部。





山梨へは中央線の特急列車でどうぞ!

便利で快適な特急「あずさ」・「スーパーあずさ」・「かいじ」



特急列車のご予約は「えきねっと」で!

えきねっと

会員登録
無料

詳しくはホームページをご覧ください。

えきねっと 検索

www.eki-net.com

- パソコン・スマホからラクラク簡単予約!
- 指定席が発売開始日のさらに1週間前から事前受付OK!
- 指定席券売機でスムーズにお受取り!

※一部の列車や一部の区間は「えきねっと」でお取り扱いしていません。

※乗車日の1ヶ月+1週間前から指定席を事前に申し込むことができます。実際の発売手配は乗車日1ヶ月前の午前10時からとなります。

※満席等の理由により、座席をご用意できない場合があります。※運転日や運転時刻、停車駅などは事前にご確認ください。

※掲載内容は2017年11月現在の情報です。ご利用の際はホームページなどで最新情報をご確認ください。※路線図や写真はイメージです。



山梨 **てくてく** *TokuToku*
VOL.09 | 2017 WINTER

平成29年11月1日[季刊]
第9巻冬号



やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、
FSC®森林管理認証を
取得した山梨県有林からの
木材が使用されています。

山梨県広聴広報課 発行 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
TEL. 055-223-1339 FAX. 055-223-1525 制作 山梨日日新聞社

山梨県